

日本酒ビジネスセミナー 登壇者プロフィール

渡邊 賢一（わたなべ けんいち） 株式会社XPJP代表取締役社長 【モデレーター】

栃木県栃木市出身。1995年学習院大学卒業。カリフォルニア大学サンディエゴ校、ワシントン大学BUSIP留学。国際電信電話（現KDDI）、朝日新聞社、内閣官房地域活性化統合事務局に勤務後、2010年に地方創生プロデュース法人(株)元気ジャパンを設立し、世界各国を舞台にクールジャパン、インバウンド、輸出促進、文化交流分野の事業を展開。2015年に海外クリエイターとのパートナーシップを軸としたエクスペリエンス・デザイン法人株式会社XPJPを設立し、映像コンテンツ制作、デジタル・マーケティング、イベント・プロデュース等を強化。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究所研究員。日本ガストロノミー学会プロデューサー。クールジャパン地域プロデューサー。

安部 ロブション 龍依（あべ ろぶしょん るい） JAPAN EXQUISITE株式会社 代表取締役

1988年生まれ。幼少時代を福岡、高校までの学生時代をフランス・パリ、そして大学生生活を慶應義塾大学で過ごす。父はフレンチの巨匠、ジョエル・ロブション氏。2016年にJAPAN EXQUISITE株式会社を立ち上げ、日本の魅力や文化の海外展開を支援。

飯田 豊彦（いいた とよひこ） 株式会社飯田 代表取締役社長

1963年生まれ。東京大学経済学部卒。神戸大学大学院修了(MBA)。東京大学EMP修了。キリンビール勤務を経て、飯田グループ入社。2002年より代表取締役社長。飯田グループは、酒類卸・ワイン輸入の(株)飯田、原料商社の飯田商事、奈良の長龍酒造、香川の綾菊酒造、日本酒用精米機の新中野工業、米国での日本酒精米のISRI、奈良漬製造の飯田フーズなど、酒・ワインを中心に幅広く事業を展開する。国内外の原料農家、生産者、流通業者、飲食店を頻りに訪ねており、酒類流通の現状について詳しい。ブルゴーニュワインの騎士。

小野村 拓志（おのむら ひろし） 日本食品海外プロモーションセンター 次長

1988年に上智大学法学部を卒業後、同年にJETRO入構。スペイン、マレーシア、香港での駐在を経験。特に香港では事務所長として農水産物・食品の輸出拡大に邁進。香港から帰国後、総務部次長（人事担当）、農林水産・食品部次長を経て、2017年JFOODO事務局次長に就任。

嘉納 健二（かのう けんじ） 灘五郷酒造組合理事長、白鶴酒造株式会社代表取締役社長

1971年生まれ、神戸市出身。寛保3（1743）年の創業の白鶴酒造株式会社の代表取締役社長。学習院大学経済学部卒。1995年白鶴酒造入社。社長室長などを経て2001年、父秀郎氏の後を継いで29歳の若さで第11代社長に就任。2010年から灘五郷酒造組合副理事長、2014年から理事長を務める。

白樫 政孝（しらかし まさたか） 剣菱酒造株式会社代表取締役社長

1977年生まれ。創業500年を超える老舗酒蔵の代表取締役社長。甲南大学経営学部卒。1999年剣菱酒造株式会社入社。代表取締役専務を経て2017年、社長に就任。赤穂浪士も愛飲した酒の味を創業当時そのままに守り続ける。シアル・パリ展2016に出品するなど海外販路開拓に取り組む。

巽 好幸（たつみ よしゆき） 神戸大学 教授

1954年生まれ、大阪府出身、東京大学大学院卒（理学博士）。京都大学理学研究科教授、東大海洋研究所教授、（独）海洋研究開発機構プログラムディレクター、神戸大学教授を経て、2016年より海洋底探査センター長。専門はマグマ学。著書に「和食はなぜ美味しい－日本列島の贈り物」（岩波書店）など。

北神 裕（きたがみ ゆたか） 内閣府知的財産戦略推進事務局企画官

昨年夏から、内閣府で政府のクールジャパン戦略のとりまとめ事務を務めているほか、海外や地方のクールジャパン関連イベント運営等に携わる。それまでは、総務省で放送・通信行政を担当してきたほか、新潟県三条市役所に出向して地域振興に貢献。また、情報通信分野の日米関係やAPEC等の国際関係に取り組む。

